

教育は人なり

— 教育の最も重要な要件は 人 —

校長 金子 智

読み聞かせボランティアの方が子どもたちに、「聴いてくれてありがとう。」とおっしゃっていました。子どもたちが心を真っ直ぐに向けて聴いたからです。どの子も健やかです。本当に充実の2学期でした。

- 先日、いつも子どものあいさつに玄関に立つ職員が朝の準備をしている私たちに声をかけました。「先生方、聞いてください。今日の子どものあいさつよかったです。子どもたちに『よかった』と伝えてあげてください。」と。

この日の朝のあいさつが、どの子もいつもよりずっと快活で、元気がよくて、礼儀が正しくて、立派だったということではないと思います。しかしこの職員には「今日の子どものあいさつはよかった」と感じられたのです。

もしかすると、いつもはうつむき加減で歩いてきて小さな声で「おはようございます。」とあいさつする子が、今日はいつもより少し明るい声であいさつしたのかも知れません。あるいは、いつもは目を合わせないであいさつする子が今日はこの職員と目を合わせてあいさつしたのかもしれない。それはわかりませんが、この職員は昨日とは違う本当に些細なことに気づいたのだと思います。それをとても嬉しく思いました。

私たちは、「日常生まれている『よさ』」に気づいてそれを伝え返す。」ことを行っています。そうやってきたら子どもたちはできることをたくさん増やしました。これは本当のことです。

- 胎内市では、胎内市の文化や自然に触れ、ふるさとを誇りに思う子どもを育てようと5年生になると「ふるさと体験学習」を行っています。プログラムの一つに個人のお宅に泊まる「民泊」があります。先日民泊を受け入れてくださった方々と意見交換しました。この意見交換会に参加して3年になります。年々「子どものできることを増やす」ための意見交換になってきていると思います。

今年民泊を受け入れてくださった方の意見です。「農作業する子どもたちを見ていると確かに得て不得手があります。私は戸惑っている子のそばに行き、すぐに手を出すのは止めています。こっちから先回りして手を出すと、判断できない子になってしまうと思うんです。判断できないと決断できません。決断できないと行動に移せません。そういう子になってしまいます。だから、私は口も手も出さず、子どもが戸惑う様子を見守っています。見守るのは大変です。でもそうしないと子どもは育たないんです。私たちは子どもを教育する役目をしているのだと思うんです。」

「全く同感、我が意を得たり」。地域、学校だけでなく胎内市全体で合言葉「みんなで力を合わせて、子どもの方をしっかりと向いて、大事に大事に育てましょう」を実現していると思いました。

つくづく「教育は人なり。人が人を育てる。教育の最も重要な要件は人」を本当だと思います。

真っ白な朝日岳が神さびて聳えています。